令和4年版

あなたの大切な人を守るために
備えておいてください

菊陽町
総合防災マップ

Comprehensive disaster prevention map

身近なところに置いて
役立てましょう

菊陽町マスコットキャラクター
「キャロッピー」

菊陽町WEB版ハザードマップ	
右のQRコードよりご覧いただけます。	

町民の皆様へ

近年、平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨、令和2年台風第10号など、大規模な自然災害による被害が多発しています。

菊陽町では、光の森防災広場の整備、防災センターの建設及び防災機能を備えた総合体育館の建設開始など、町民の皆様が安全・安心して生活できるように、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

また、防災の基本は、日頃から災害に備えることや早めの避難などを行う「自助」、地域で協力して助け合う「共助」、行政や消防、警察等による「公助」がありますが、災害発生時には何よりも「自助」「共助」の力が重要です。

今回作成しました「令和4年版菊陽町総合防災マップ」は、町内各所の最新の洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の他に、防災に関する多くの情報を掲載しています。

いつ発生するか分からない災害に対して、「自助」の力を高め被害を最小限にとどめるための日頃からの備えとして、各世帯に配布いたしますので、身近なところに置いて大いに役立てていただければ幸いに存じます。

菊陽町長　吉本孝寿

CONTENTS

マイ・タイムラインの作成	1	MAP①	14•15
防災情報・避難のタイミング	2	MAP②	16•17
特別警報をご存じですか？	3	MAP③	18•19
風水害・台風	4	MAP④	20•21
洪水・土砂	5	MAP⑤	22•23
地震	6	MAP⑥	24•25
自主防災組織・防災士	7	MAP⑦	26•27
住まいの防災対策＆チェック	8	MAP⑧	28
非常時持出品の準備＆チェック	9	MAP⑨	29
避難所の利用について	10	MAP⑩	30•31
避難所一覧	11	MAP⑪	32•33
全域図（①～⑪）・菊陽町公式情報	12•13		

菊陽町総合防災マップ

発　　行：菊陽町　熊本県菊池郡菊陽町大字久保田2800番地

制作・著作：株式会社ゼンリン熊本営業所　熊本市南区田迎1丁目7-1　TEL:096-370-1400

無断で複写・転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

【お断り】

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しました。（承認番号 令元情使、第807-168号）

この地図に掲載した浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の情報は、国土交通省と熊本県が調査予測した時点（それぞれの条件により異なる）のデータを基に作成しています。データ作成後に堤防の補強工事や高上げ工事、河川の砂防工事や斜面の擁壁工事等が実施された場合には、指定解除や区域の変更等が行われる場合があります。また、新たな調査により追加されるものもあり、最新のものとは異なる場合があります。

本文中の地図はゼンリン発行の菊陽町住宅地図データをもとに作成しています。作成には細心の注意をはらい編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり日々変化する現状と地図面とが一致しない場合があります。また、目標名称などは見やすさを優先し正式名称などを一部略愛して表現しています。申し訳ありませんが何卒ご了承いただきますようお願いします。

マイ・タイムラインの作成

マイ・タイムラインを作成しましょう

マイ・タイムラインとは、台風や大雨によって洪水や土砂災害が起こりそうなときに、自分や家族が取る標準的な防災行動を時系列的に整理し、まとめたものです。

台風を想定したタイムラインでは、台風が直撃する3日前、2日前、1日前、半日前、氾濫5時間前、氾濫3時間前など各時間にどのような行動をとるか整理するのがよいでしょう。

1　ハザードマップで、土砂災害警戒区域・浸水深・避難所・避難情報を確認する

洪水が起こった時に自宅や周辺が浸水するのかや、土砂災害警戒区域の範囲などを確認し、また避難所やどのような経路で避難するかを確認します。避難指示や土砂災害警戒情報など、どのような情報が出たら避難を開始するのかを確認します。

2　洪水や、土砂災害発生までにとるべき基本的な行動を考える

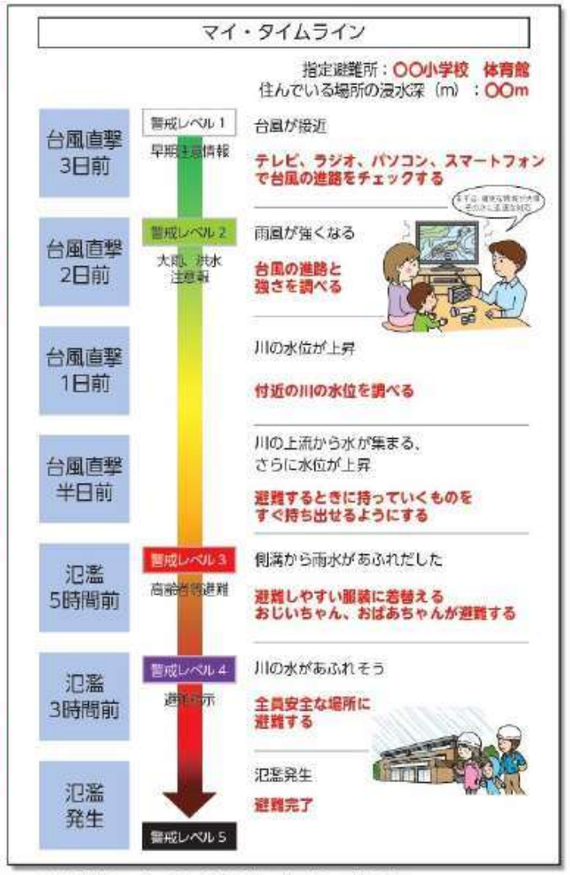
今後の台風情報を調べ始める、川の水位を調べ始める、住んでいるところと上流の雨量を調べ始める、非常持出しバッグをチェックする、避難しやすい服装に着替える、安全なところへ移動を始める、などの基本的な行動とその順番を考えます。

3　家庭の状況をチェックする

車を持っている、祖父母と同居している、ペットを飼っている、家族に持病がある、親戚など避難を受け入れてくれる場所があるなど、避難行動に向けた留意点を確認して、自分たちに必要な行動を考えます。

4　行動を時間ごとに整理する

基本的な行動と、家庭の状況チェックをして基本的な行動以外の自分たちに必要な行動が分かったら、各時間に並べます。



※上記はマイ・タイムライン作成の一例です。

熊本県のサイト「くまもとマイタイムライン」(https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline)からも、手軽にタイムラインを作成することができます。
右のQRコードから、熊本県のサイト「くまもとマイタイムライン」を閲覧できます。

国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」(https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/mytimeline/)からも、手軽にタイムラインを作成することができます。
右のQRコードから、国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」を閲覧できます。

防災情報・避難のタイミング

町では、皆さんの生命に危険が及ぶと判断した場合、警戒レベル３から
警戒レベル５を発令し、皆さんに避難を促します。
避難指示などを発令するときは、さまざまな状況を総合的に判断して発令します。

気象情報・防災情報などの流れ

災害に関する注意報や警報が発表されたら、
町からの情報に注意してください。

気象庁 熊本地方気象台
大雨・洪水注意報
大雨・洪水警報
など

➡ 報道機関（テレビ・ラジオ）による気象情報、災害情報
気象予警報・災害予警報　https://www.jma.go.jp/bosai/ ➡ **住民の皆さん**

➡ **熊本県** ➡ **菊陽町** ➡ 主なお知らせ方法 ➡ **住民の皆さん**

- ●行政区長への電話連絡など
- ●防災行政無線
- ●「きくよう安心メール」での配信
- ●「熊本県防災情報メール」での配信
- ●町ホームページでの配信
- ●報道機関への広報要請
- ●消防サイレン
- ●消防団による呼びかけ

➡ 気象情報、災害予報の流れ
➡ 避難指示などの流れ

警戒レベルと避難のタイミング

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険　直ちに安全確保！	緊急安全確保（※1）
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

※1　市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
※2　警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり危険を感じたら避難したりするタイミングです。
高齢者等には、障がい者・乳幼児等の避難に時間がかかる要配慮者とその支援者を含みます。

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。
普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基　準	
大　雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴　風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高　潮		高潮になると予想される場合
波　浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大　雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

※表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

緊急地震速報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基　準
地震（地震動）	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合（緊急地震速報（震度6弱以上）を特別警報に位置づける）
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合（噴火警報（居住地域）又は噴火警報（噴火警戒レベル4または5）を特別警報に位置づける）
津　波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合（大津波警報を特別警報に位置づける）

特別警報が発表されたら

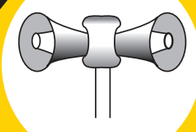
◆尋常でない大雨や暴風などが予想されています。
◆重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
◆ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビ・インターネット・自治体から発信される情報の収集に努めてください。

テレビ・ラジオ

インターネット・気象庁ホームページ


防災無線

「特別警報が発表されない」は
「災害が発生しない」ではありません。
特別警報が発表されないからといって
安心することは禁物です。

「特別警報」については、気象庁ホームページに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

気象庁
気象庁ホームページ
https://www.jma.go.jp/jma/index.html

特別警報について
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/tokubetsu-keiho/

風水害・台風

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。

まずは、確実な情報が大事
その次に迅速な対応

大雨注意報　大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

大雨警報　大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

大雨特別警報　台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表

■記録的短時間大雨情報とは･･･数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり、解析したりしたときに、各地の気象台が発表します。
熊本県区域の発表基準は、1時間雨量110mmとなっています。

雨の強さと降り方

時間雨量（mm）	10 以上～20 未満	20 以上～30 未満	30 以上～50 未満	50 以上～80 未満	80 以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

風の強さと吹き方

平均風速（m／秒）	10 以上～15 未満	15 以上～20 未満	20 以上～25 未満	25 以上～30 未満	30 以上～
予報用語	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまってないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。	

台風の大きさと強さ

台風は、毎年のように日本に襲来し、きわめて大きな災害をもたらすことがあります。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径
大型（大きい）	500km 以上～800km 未満
超大型（非常に大きい）	800km 以上

強さ	最大風速
強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒 未満
猛烈な	54m/秒 以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ●ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- ●町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- ●停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ●非常時持出品を準備しておく。
- ●早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ●飲料水や食料を数日分確保しておく。
- ●浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- ●危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、注意しておきましょう！

地下道（アンダーパス）にも注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。普通自動車の場合、約30㎝の浸水で走行困難になりますので注意が必要です。

洪水・土砂

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。
事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりうる災害に対応しましょう。

川の氾濫

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれて起きる。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。

内水氾濫

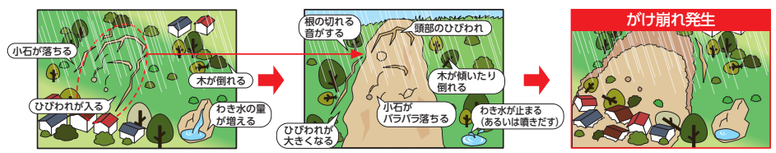
その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まって起きる。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

土砂災害

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに熊本県と熊本地方気象台が共同で発表しています。
土砂災害の危険がある地域にお住まいの方は、特に早めの避難が重要ですので、土砂災害警戒情報を避難の参考にしてください。
土砂災害警戒情報が発表されていなくても、下の図のような土砂災害の前兆に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難し、菊陽町役場までご連絡ください。

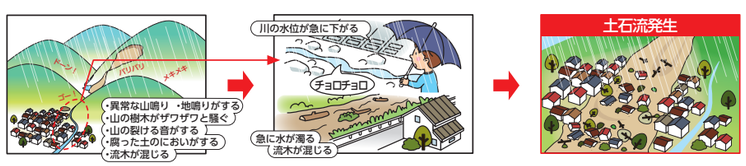
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。
がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

地　震

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1～2分

最初の大きな揺れは約1分間

◆まず、身を守る安全確保　手近な座布団などで頭を保護
◆すばやく火の確認　ガスの元栓、コンセント
◆大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する

揺れがおさまったら

◆火元を確認　火が出たら、落ち着いて初期消火
◆家族の安全を確認　倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
◆靴をはく　家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
◆避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意
◆津波などの危険が予想される地域はすぐ避難

3分

みんなの無事を確認　火災の発生を防ぐ

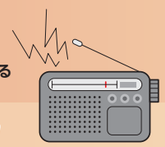
隣近所に声をかけよう
◆避難行動要支援者の安全確保　隣近所で助け合う
◆行方不明者はいないか　◆ケガ人はいないか

出火防止 初期消火
◆初期消火　消火器を使う　バケツリレー　風呂の水はため置きをしておく
◆漏電・ガス漏れに注意　◆電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める　◆余震に注意

5分

ラジオなどで正しい情報を得る

◆救出・救護を
◆町や防災機関、自主防災組織の情報を確認
◆デマにまどわされないように　◆電話は緊急連絡を優先する



10分

協力して消火活動、救出・救護活動

◆水、食料は蓄えているものでまかなう　3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
◆災害・被害情報の収集　◆無理はやめよう
◆助け合いの心が大切　◆壊れた家に入らない

数時間

3日

屋内にいた場合

◇家の中

◆揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
◆火の確認はすみやかに（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
◆高齢者等の避難行動要支援者の安全を確保する。
◆裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

◇集合住宅

◆ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

◇デパート・スーパー

◆カバンなどで頭を保護しショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

◇劇場・ホール

◆カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
◆あわてずに冷静な行動をとる。

屋外にいた場合

◇路上

◆その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
◆近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
◆ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
◆倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

◇車を運転中

◆ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
◆揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
◆避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

◇海岸付近

◆高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

◇電車などの車内

◆つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
◆途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
◆乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

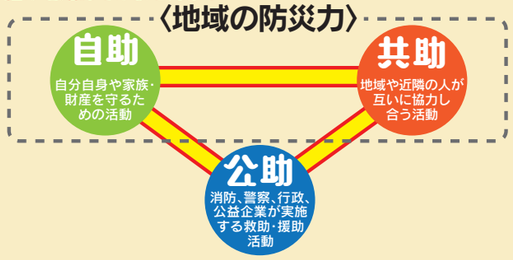
自主防災組織・防災士

災害に強い地域をつくりませんか？

自主防災組織

災害発生時には、自助・共助・公助の連携により人的・物的被害を軽減することができます。
ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動（公助）は交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える（自助）とともに、地域での助け合い（共助）による地域の防災力が重要となります。
災害に強い地域づくりを目指して、災害時の被害を軽減するため、「自主防災組織」活動を通じて、共助の強化、地域の防災力の強化に向けた取り組みを始めてみませんか？

〈地域の防災力〉



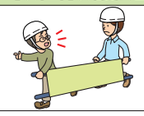
1. 自主防災組織とは？

○災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんが一緒になって防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言います。
○平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食給水などの活動を行います。

2. なぜ、自主防災組織が必要なの？

○大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。
　このような時、地域の皆さんが一緒になって協力し、災害や避難に関する情報の伝達、避難誘導、安否確認、救出・救護活動に取り組むことで被害の軽減を図る事ができます。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割分担を決めておくことが有効です。
　より効率よく、さまざまな活動をするためにも事前の準備（＝体制づくり）が重要です。

○各班の日頃（平常時）と緊急時（災害発生時）の活動内容は概ね次のような役割になります。（例）

	情報班	消火班	避難誘導班	救出救護班	給食・給水班
					
平常時	○住民に対しての連絡体制、手段の検討 ○情報収集・伝達訓練の実施 ○防災意識の啓発、高揚に関する広報 ○公的防災機関との連携確保	○初期消火訓練の実施 ○消火用水の確保、確認 ○出火防止の啓発	○事前に避難路、避難場所を把握 ○避難誘導訓練の実施 ○避難路の安全点検 ※危険箇所（がけ、ブロック塀）などの確認等 ○避難行動要支援者の把握	○応急手当、衛生知識の普及 ○救命講習への参加 ○応急医薬品、救助資機材の点検・確保 ○技能、ノウハウを持った住民の把握 ○救助用資機材の点検・確保	○非常用食品、飲料水の個人備蓄についての普及啓発 ○炊き出し訓練の実施 ○炊き出し用資機材の点検・確保
緊急時	○災害情報を住民に対して正確かつ迅速に伝達 ○地域内の被害情報を収集し、本部へ報告 ○混乱回避、出火防止等の広報	○初期消火活動 ※消防署、消防団の到着までの延焼拡大を防ぐのが基本ですので無理はしないこと!! ○情報班と連携しての出火防止等の広報	○情報班と連携しての避難の呼びかけ ○安全な経路を選択しての避難誘導 ○避難行動要支援者の避難支援 ○避難地での安否確認 ○安否確認による救出救護班への情報伝達	○避難誘導班と連携しての速やかな救出 ※救出活動は危険を伴う場合があるため、二次災害に十分注意して下さい。 ○負傷者の搬送、応急手当の救護 ○避難所・救護所での救護活動への協力	○食料や水、救援物資等の受入、配布 ○必要に応じて炊き出し

防　災　士

”自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを認定NPO法人日本防災士機構が認証した人です。

防災士になるには

日本防災士機構が認証した研修機関が実施する「防災士養成研修講座」を受講し、「研修履修証明」を取得した上で、日本防災士機構が実施する「防災士資格取得試験」を受験し、合格する必要があります。
※多くの地方公共団体が予算を計上して防災士を養成し、自主防災組織や学校、職場に配置するといった事例が各地で広がるなど、防災士の社会的評価と期待は急速に高まっています。防災士は、こうした社会の信頼性を背景に、志と使命感をもって活動することが期待されています。

住まいの防災対策&チェック

事前に準備できているか、チェック☑しましょう。

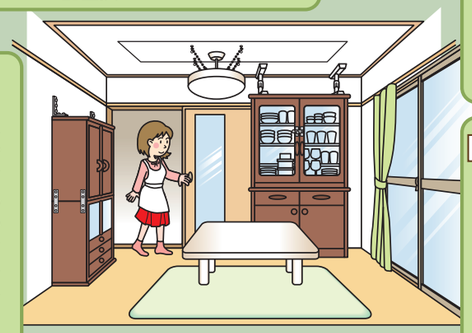
家の中の安全対策

□ **家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる**

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

□ **家具の転倒を防ぐ**

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



□ **安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない**

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

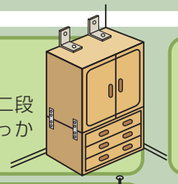
□ **寝室、子どもや高齢者のいる部屋には家具を置かない**

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

□ **タンス・本棚**

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。

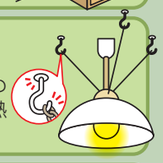


□ **食器棚**

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。

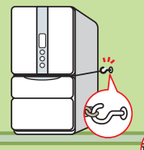
□ **照明**

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



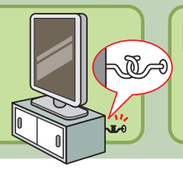
□ **冷蔵庫**

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



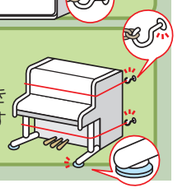
□ **テレビ**

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。

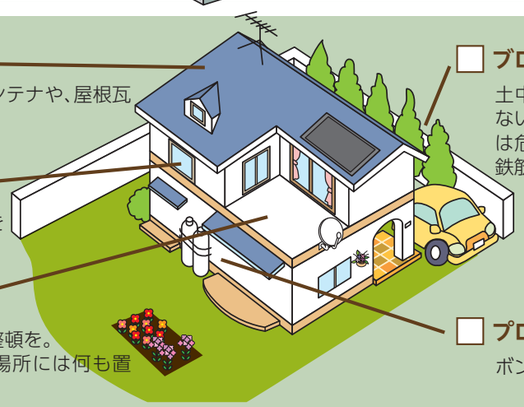


□ **ピアノ**

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



家の周囲の安全対策



□ **屋根**

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

□ **窓ガラス**

飛散防止フィルムをはる。

□ **ベランダ**

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

□ **ブロック塀・門柱**

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

□ **プロパンガス**

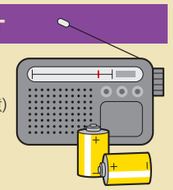
ボンベを鎖で固定しておく。

非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。
事前に準備できているか、チェック☑しましょう。

非常時持出品（例）

携帯ラジオ



- □ ラジオ
- □ 電池 (多めに用意)

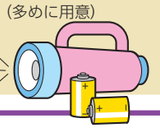
救急医療品

- □ 常備薬
- □ 傷薬
- □ かぜ薬
- □ 鎮痛剤
- □ 絆創膏
- □ 包帯
- □ 胃腸薬
- □ マスク

貴重品

- □ 現金
- □ 印鑑
- □ 健康保険証
- □ 預金通帳
- □ 免許証
- □ 権利証書

懐中電灯



- □ 懐中電灯 (できれば一人にひとつ)
- □ 電池 (多めに用意)

非常食品等 火を通さないで食べられるもの、食器など

- □ 非常用食品
- □ 缶切り
- □ 紙皿
- □ 缶詰
- □ ミネラルウォーター
- □ 栓抜き
- □ 紙コップ
- □ 水筒

その他

- □ 衣類(下着・上着など)
- □ 生理用品
- □ 離乳食
- □ ウェットティッシュ
- □ ヘルメット
- □ ラップフィルム (止血や食器にかぶせて使う)
- □ 防災マップ(本書)
- □ タオル
- □ 粉ミルク
- □ 紙おむつ
- □ カッパ
- □ ライター
- □ 携帯電話の充電器

非常時用備蓄品（例）

災害復旧までの数日間(最低３日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水

- □ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター (1人1日3リットルを目安に)
- □ 貯水した防災タンクなど

非常食品

- □ お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- □ 缶詰・レトルト食品
- □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料

- □ 卓上コンロ
- □ ガスボンベ
- □ 固形燃料

その他

- □ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- □ 調理器具(なべ・やかんなど)
- □ バケツ・各種アウトドア用品など

定期！点検 非常時持出品は定期的に点検を！

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの　携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。

熊本地震で役に立ったもの　ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ブルーシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するときに支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はこまめにチェックし、賞味期限がせまったものは使用し、新しいものに入れ替えましょう。

避難所の利用について

避難所では限られたスペースでの共同生活となりますので、マナーやルールを守ることが大切です。
避難者同士のプライバシーを守りながら、譲り合いの心を持って助け合い、協力、配慮が必要です。

共同生活の注意点

所持品

◆避難所には多くの人が避難します。トラブルにならないよう所持品に名前を書きましょう。
◆避難所の中から避難しなければならない場合があります。所持品は、１か所にまとめ、すぐに持ち出せるようにしましょう。

ルール

◆大災害の際は、町職員やボランティアが不足する場合があります。炊き出し、救援物資の受け取り、防犯対策、トイレ掃除など、共同生活に必要な役割は、みんなで協力しましょう。
◆水道が使えない場合は、飲み水や生活用水の確保が必要です。給水ポイントのお知らせや給水車が到着するまで大切に使いましょう。
◆障がいのある人や高齢者、妊産婦などには、手助けをしましょう。
◆居住スペースは、個人の家と変わりません。要配慮者や乳幼児のいる家庭には気を配る必要がありますので、個人のプライバシーは守りましょう。
◆ゴミは分別し、所定の場所へ持っていきましょう。ゴミには封をして、害虫の発生を防止しましょう。
◆避難所のトイレは多くの方が使用しますので、トイレットペーパーが詰まる可能性があります。トイレを流す際にルールがある場合は、そのルールを守りましょう。
◆避難所は完璧な居住空間ではありません。自分の身は自分で守ることを心がけ、不審者を見つけたら、警察や町職員又は、避難所の管理者、リーダーに連絡しましょう。
◆避難所から別の場所へ移動するときは、必ず避難所にいる町職員及び管理者等に一声かけてください。
◆避難所での飲酒はやめましょう。

マナー

◆物資が支給される場合は、慌てず、列に並び、落ち着いて自分の順番を待ちましょう。列に並べない要配慮者への気配りも必要です。物資が少ない場合は、一人分を複数人で分ける場合もあります。
◆掃除は定期的に行い、清潔な状態を保ちましょう。室内は土足厳禁とし、布団を敷くスペースと通路を分けましょう。
◆喫煙は、火災防止や受動喫煙防止のため、所定の場所で行いましょう。

食中毒

◆食中毒は一年中発生します。調理・盛り付けの前、食材に触った後、トイレの後には石鹸で十分に手を洗いましょう。
◆食器、調理器具にも注意が必要です。使用後や作業が変わるたびに洗浄と消毒を行いましょう。水が使えないときは、使い捨て容器にラップを敷いて使う方法もあります。

感染症対策

◆避難所は集団生活の場となりますので、かぜやインフルエンザなどの感染症が流行しやすくなります。
◆予防対策としては、3密（密閉・密集・密接）を避けこまめにうがいや手洗いや手指消毒を行い、必ずマスクを付けましょう。排泄物やおう吐物の処理には、必ず使い捨て手袋とビニール袋を使用してください。
◆発熱、下痢など体調のすぐれない方は早めに係にお知らせ下さい。

体調管理

【エコノミークラス症候群】
長時間足を動かさないでいると足の静脈に血栓（血の塊）ができ、歩き出した後などに血栓の一部が血流に運ばれて肺や脳の血管をふさいでしまう病気となります。
予防対策として体を動かしましょう。座ったままでも足や指のつま先を動かすなど足の運動をしましょう。十分な水分をとり、脱水症状にならないようにしましょう。

【熱中症】
猛暑などで高い温度が長く続き、発汗して水分や塩分を失われる状態や湿度が高い時期に汗が蒸発しないため、体内の熱がこもったままで放出されない状態において、めまい、筋肉痛、頭痛、吐き気、失神、けいれんなどを起こす症状です。
予防対策として水分をこまめにとりましょう。塩分もほどよくとりましょう。涼しい服装に心がけましょう。室内でも温度に注意しましょう。日陰を利用しましょう。日傘や帽子を使いましょう。

避難所一覧

安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

■指定緊急避難場所及び指定一般避難所

No.	所在校区	避難場所及び避難所名	住　所	異常な現象の種類			収容可能人数		MAP 座標
				洪水	崖崩等	地震	屋内	屋外	
1	菊陽南小学校区	菊陽南小学校	菊陽町大字曲手 397	●	●	●	200	1,000	6-F-4
2		南部町民センター	菊陽町大字曲手 498-3	●	●	●	90	—	6-E-4
3	菊陽中部小学校区	菊陽中部小学校	菊陽町大字津久礼 411	●	●	●	300	1,600	6-D-1
4		町民体育館	菊陽町大字久保田 2598	●	●	●	330	—	6-D-1
5		老人福祉センター※	菊陽町大字久保田 2623	●	●	●	60	—	6-D-1
6		菊陽中学校	菊陽町大字久保田 2563	●	●	●	630	3,700	6-D-1
7		東部町民センター	菊陽町大字久保田 1309-2	●	●	●	90	—	10-B-2
8		上津久礼公民館	菊陽町大字津久礼 1157-2		●	●	130	—	6-B-2
9		下津久礼公民館	菊陽町大字津久礼 1786-2			●	70	—	3-F-2
10	菊陽北小学校区	菊陽北小学校	菊陽町大字原水 4652		●	●	220	1,000	5-E-1
11		ふれあいの森研修センター	菊陽町大字原水 4652-24		●	●	40	—	5-E-1
12	菊陽西小学校区	菊陽西小学校	菊陽町大字原水 5666-40	●	●	●	330	2,700	2-D-4
13		三里木町民センター	菊陽町大字津久礼 2962-2	●	●	●	90	—	2-D-5
14	武蔵ヶ丘小学校区	武蔵ヶ丘小学校	菊陽町武蔵ヶ丘北１丁目 2-1	●	●	●	330	1,400	1-F-4
15		武蔵ヶ丘中学校	菊陽町光の森１丁目 3518	●	●	●	450	2,100	3-A-1
16		武蔵ヶ丘コミュニティセンター	菊陽町光の森１丁目 3517-3	●	●	●	210	—	3-A-1
17		光の森町民センター（体育館）	菊陽町光の森２丁目 1-1	●	●	●	280	—	3-B-1
18	武蔵ヶ丘北小学校区	武蔵ヶ丘北小学校	菊陽町武蔵ヶ丘北３丁目 5-2	●	●	●	280	1,000	1-E-3
19		西部町民センター	菊陽町武蔵ヶ丘北３丁目 5-1	●	●	●	70	—	1-F-3

※老人福祉センターは、指定福祉避難所を開設しない場合に利用します。

■指定緊急避難場所

No.	所在校区	避難場所	住　所	異常な現象の種類			収容可能人数		MAP 座標
				洪水	崖崩等	地震	屋内	屋外	
1	町内全域	町民グラウンド	菊陽町大字久保田 2786	●	●	●	—	4,500	5-D-5
2		菊陽杉並木公園	菊陽町大字原水 5326	●	●	●	—	8,000	5-A-4
3		菊陽町光の森防災広場・多目的広場	菊陽町光の森３丁目 2-2	●	●	●	—	6,000	3-B-1
4		ふれあいの森公園	菊陽町大字原水 4642-16		●	●	—	2,600	5-E-1
5		鼻ぐり井手公園	菊陽町大字曲手 436-1	●	●	●	—	2,600	6-E-4
6		菊陽町防災センター	菊陽町大字久保田 2800	●	●	●	65	—	5-D-5

■指定福祉避難所

種別	No.	施設名	住　所	収容可能人数	MAP 座標
町立福祉避難所	1	老人福祉センター	菊陽町大字久保田 2623	40	6-D-1
	2	福祉支援センター	菊陽町大字久保田 2596	30	6-D-1
	3	ふれあい交流・福祉支援センター	菊陽町武蔵ヶ丘北１丁目 6-34	50	1-F-3
	4	総合交流ターミナル　さんふれあ	菊陽町大字原水 5359	105	2-F-4
	5	図書館ホール	菊陽町大字原水 1438-1	100	5-A-4
	6	菊陽杉並木公園　管理センター	菊陽町大字原水 5326	100	2-F-4
	7	光の森町民センター（地域センター）	菊陽町光の森２丁目 1-1	75	3-B-1
協定福祉避難所	1	特別養護老人ホーム　きほう苑	菊陽町大字辛川 1929	15	6-A-4
	2	老人保健施設　サンライズヒル	菊陽町大字曲手 760	40	7-E-2
	3	障害者施設　第２熊本菊陽学園	菊陽町大字曲手 697-2	100	6-F-5
	4	障害者施設　就労サポートセンター　菊陽苑	菊陽町大字原水 3930-1	80	8-A-2

■協定一時避難所

No.	主な対象地域	施設名	住　所	収容可能人員	MAP 座標
1	にじの森、花立、南花立、向陽台	創価学会熊本平和会館	菊陽町花立１丁目 1-1	1,264	1-D-3

菊陽町の公式情報はこちらから

きくよう安心メール

「きくよう安心メール」は、町民の皆様の携帯電話やパソコンのメール機能などを活用し、防災・防犯情報など様々な情報を迅速かつ正確にお知らせするシステムです。
この機会にぜひ、ご登録ください。

防災・防犯情報
防災行政無線の放送内容や警察からのお知らせなど
イベント情報
町からのお知らせ

「あんしんメール」アプリでの登録方法

スマートフォン利用者のみ対象

「あんしんメール」アプリ（無料）をインストール

iOS（iPhone）用

Android用

メールアドレスでの登録方法

携帯、パソコンから kikuyo@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信

Yahoo! JAPAN 防災速報

あらゆる災害情報をいち早くお知らせします。

災害が起こる前に、地震・豪雨・津波などの情報を通知します。通知のオン・オフも設定可能です。

どこにいても安心です

自宅、実家、勤務先など国内最大３地点と、位置情報で把握した現在地へ通知するのでどこにいても安心です。

菊陽町からの緊急情報を受け取れます

余震や台風接近時の緊急情報、避難所の開設状況など菊陽町の発表する防災情報が直接届きます。

インストールはこちら

菊陽町公式アプリ

町ホームページの情報をスマートフォンなどで簡単に閲覧できます。また、プッシュ通知の機能により、関心がある分野に新着記事が登録されると自動でお知らせします。

分類選択について

メニューの「分類選択」より、興味のある分野を選択する事で、選択した分類のタブ表示・プッシュ通知を受け取れるようになります。自分の好みに合わせて閲覧する情報をカスタマイズできます。

緊急情報の自動配信

防災情報などの緊急情報が町から発信された場合、即時に通知されます。

インストールはこちら

iOS（iPhone）用　Android用

菊陽町公式LINE

健康づくりや子育て、防災などに関する町のさまざまな最新情報を、お手持ちのスマートフォンやタブレットなどにLINEで配信します。友だち登録をお願いします。

友だち登録の方法

①URLから追加する
https://lin.ee/9eeGghm
②QRコードから追加する
下記のQRコードを読み込み、「追加ボタン」を押して登録

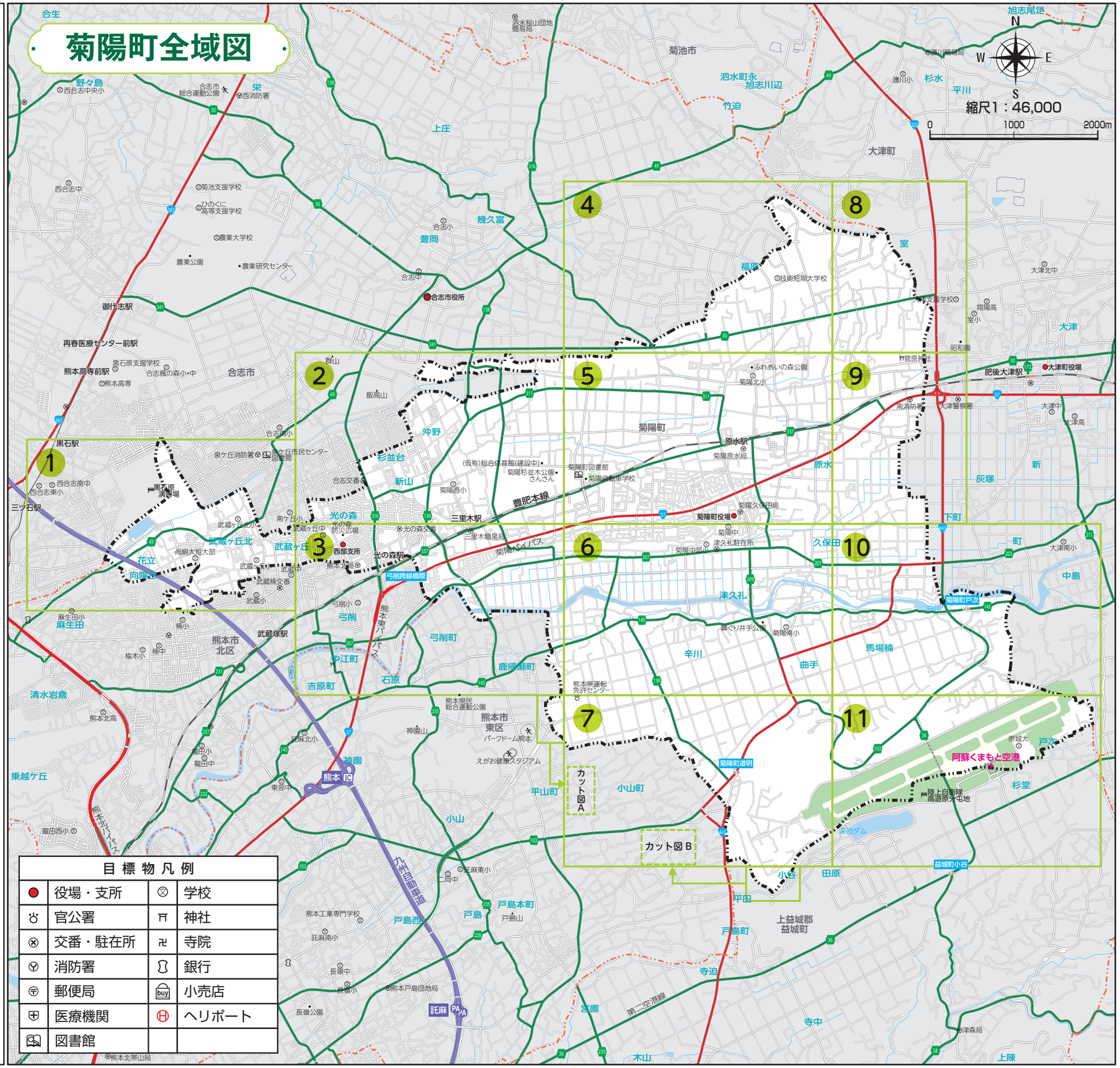
〔重要〕LINEの受信設定（はじめに設定してください）

LINEメニュー画面の「受信設定」ボタンより、受信したい項目を設定します。

町ホームページから配信されるすべての情報が欲しい場合は全ての項目にチェックを入れてください。

設定後、ホームページの情報がLINEで皆様に届きます。

菊陽町全域図



1 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

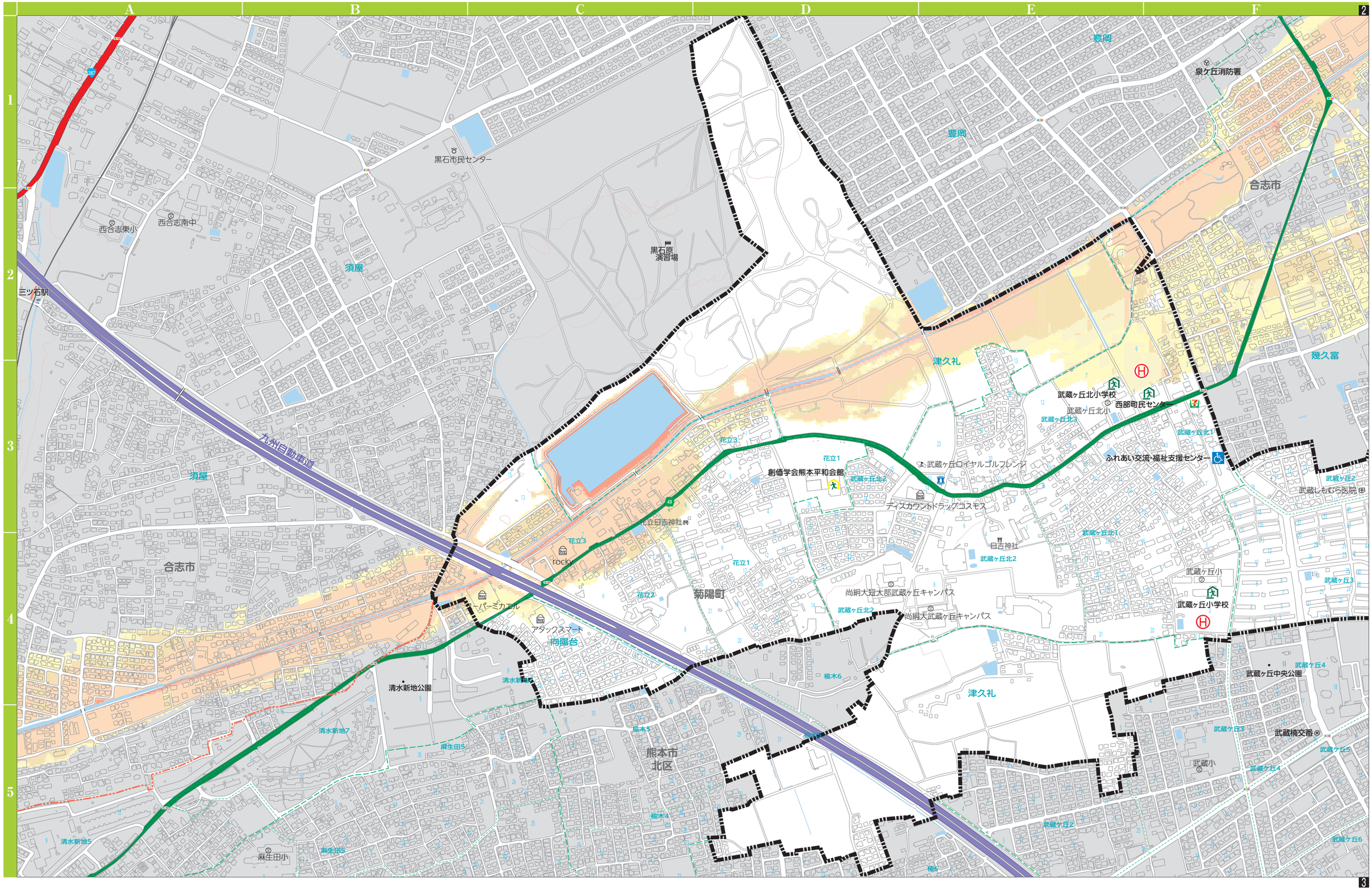
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例	
0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

2 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

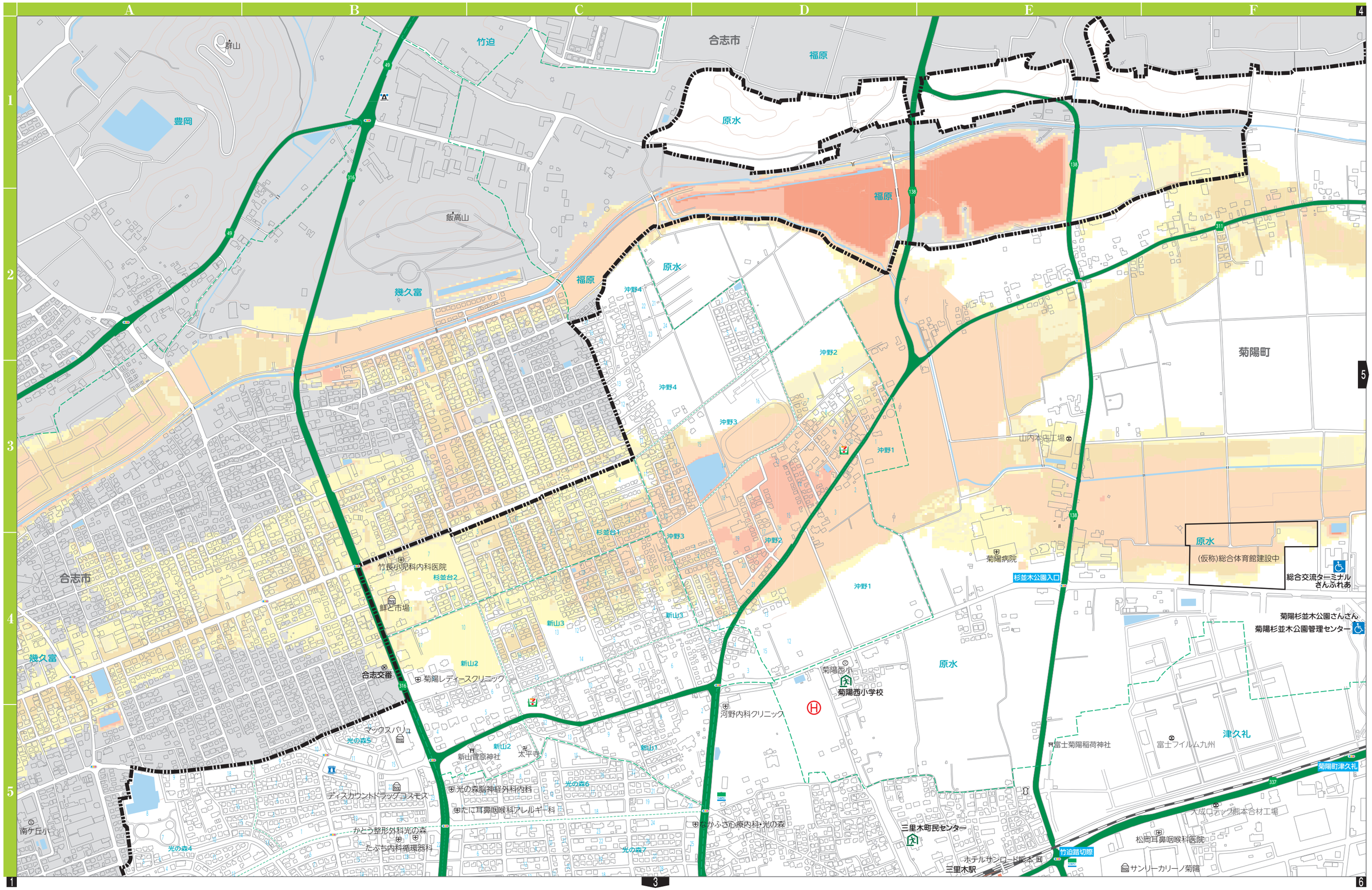
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例	
0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

3 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

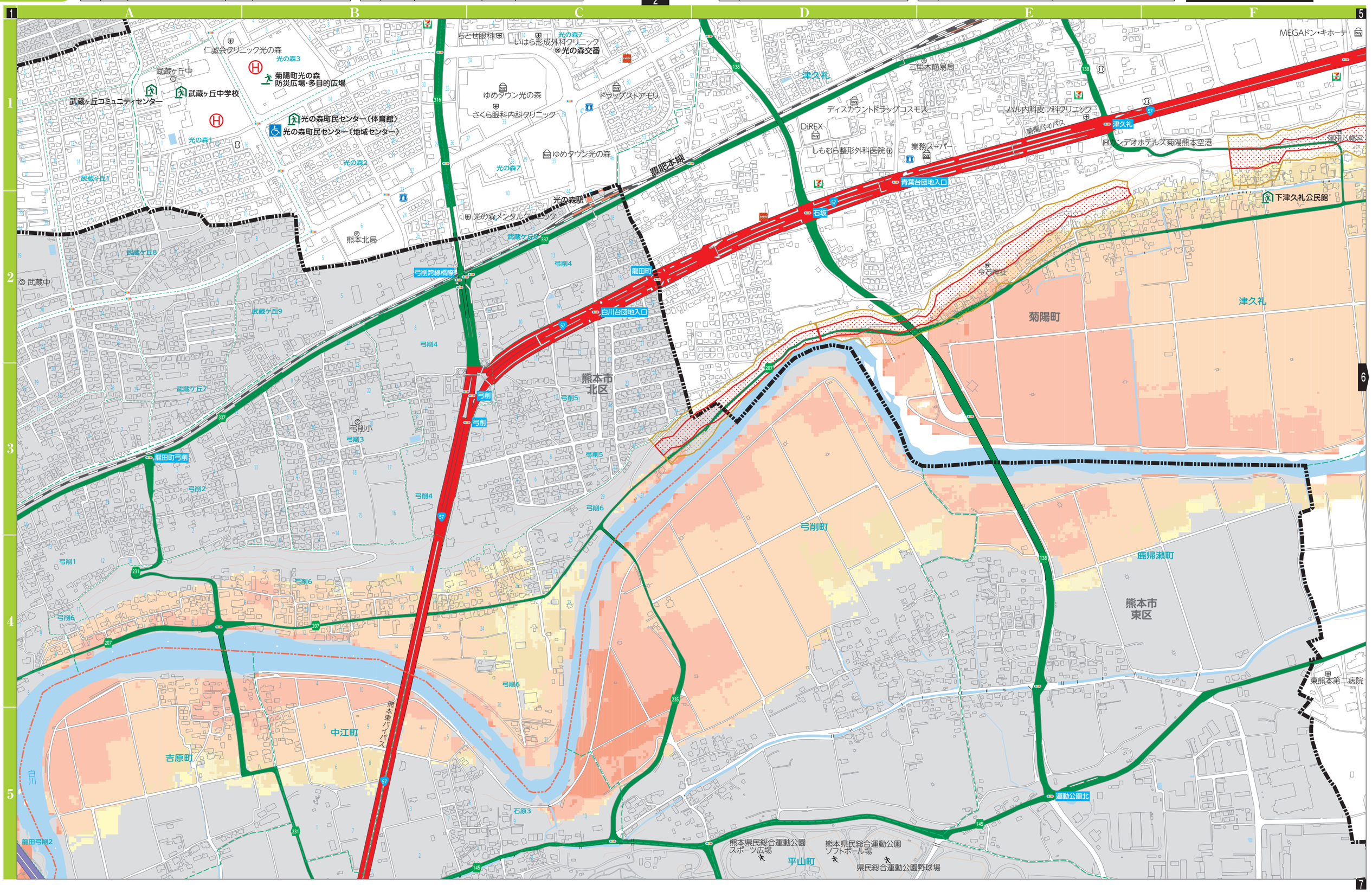
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例		
	0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
	0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
	0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
	1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

4 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

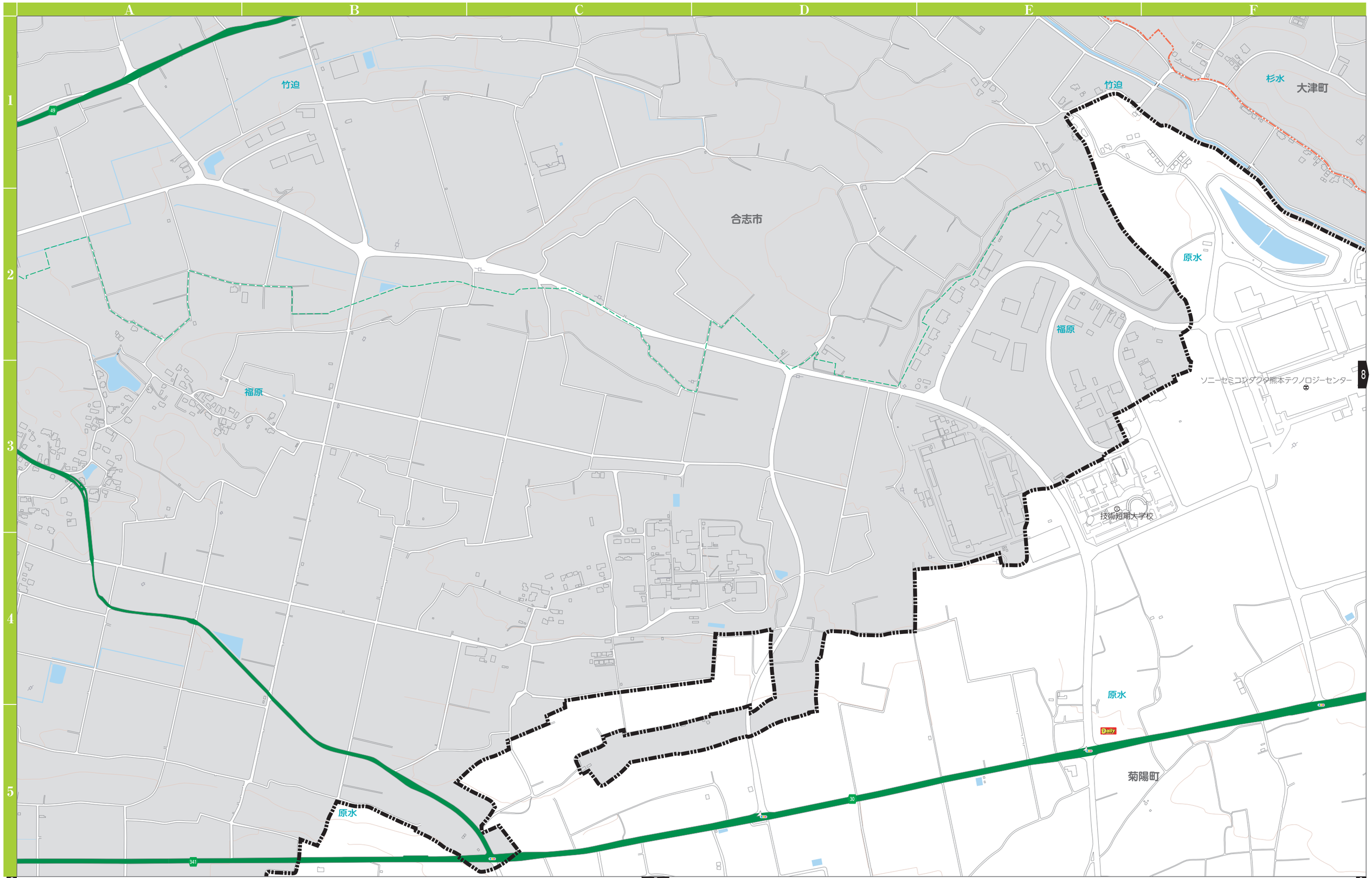
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例	
0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

5 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

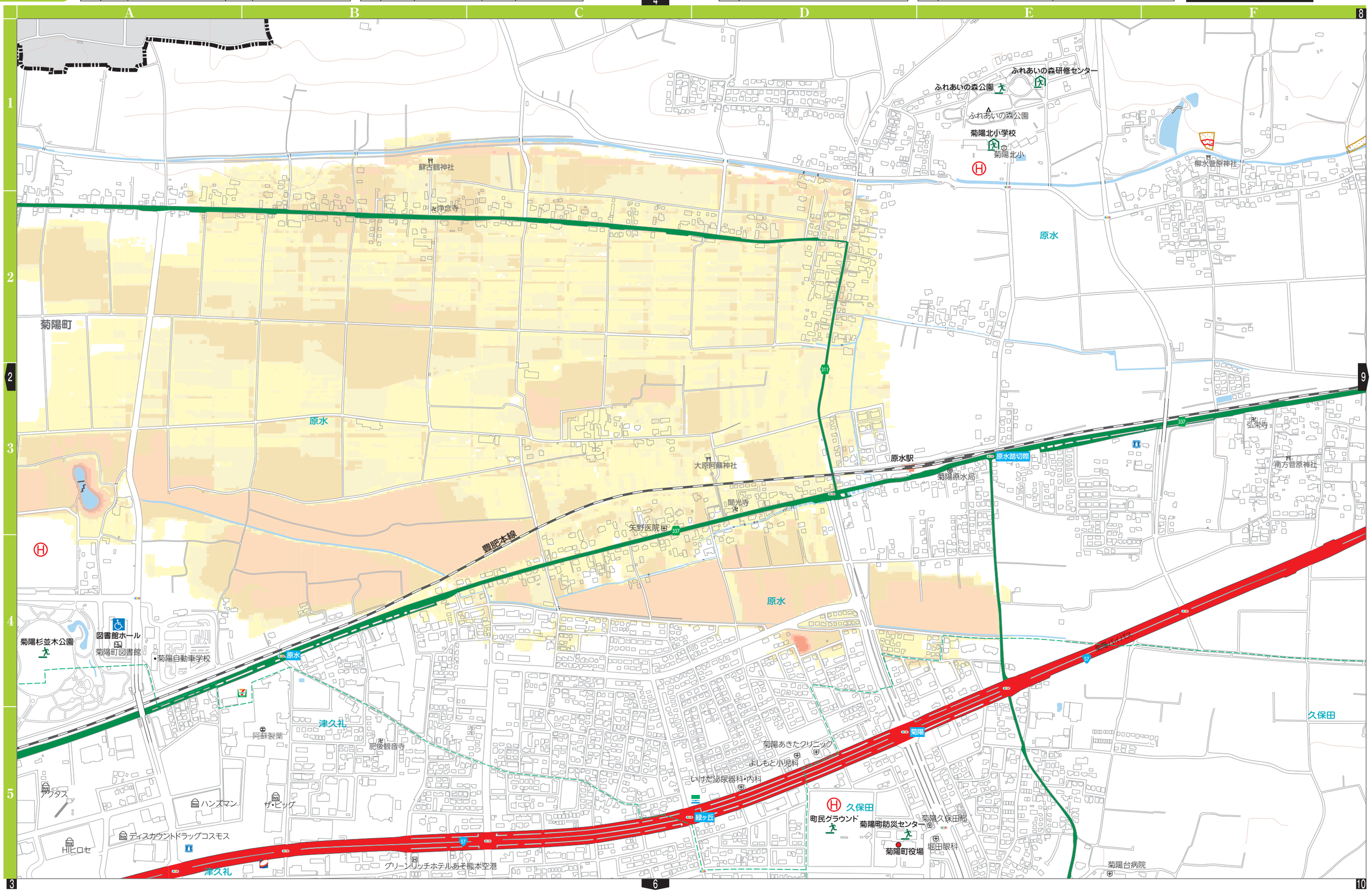
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例	
0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

6 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

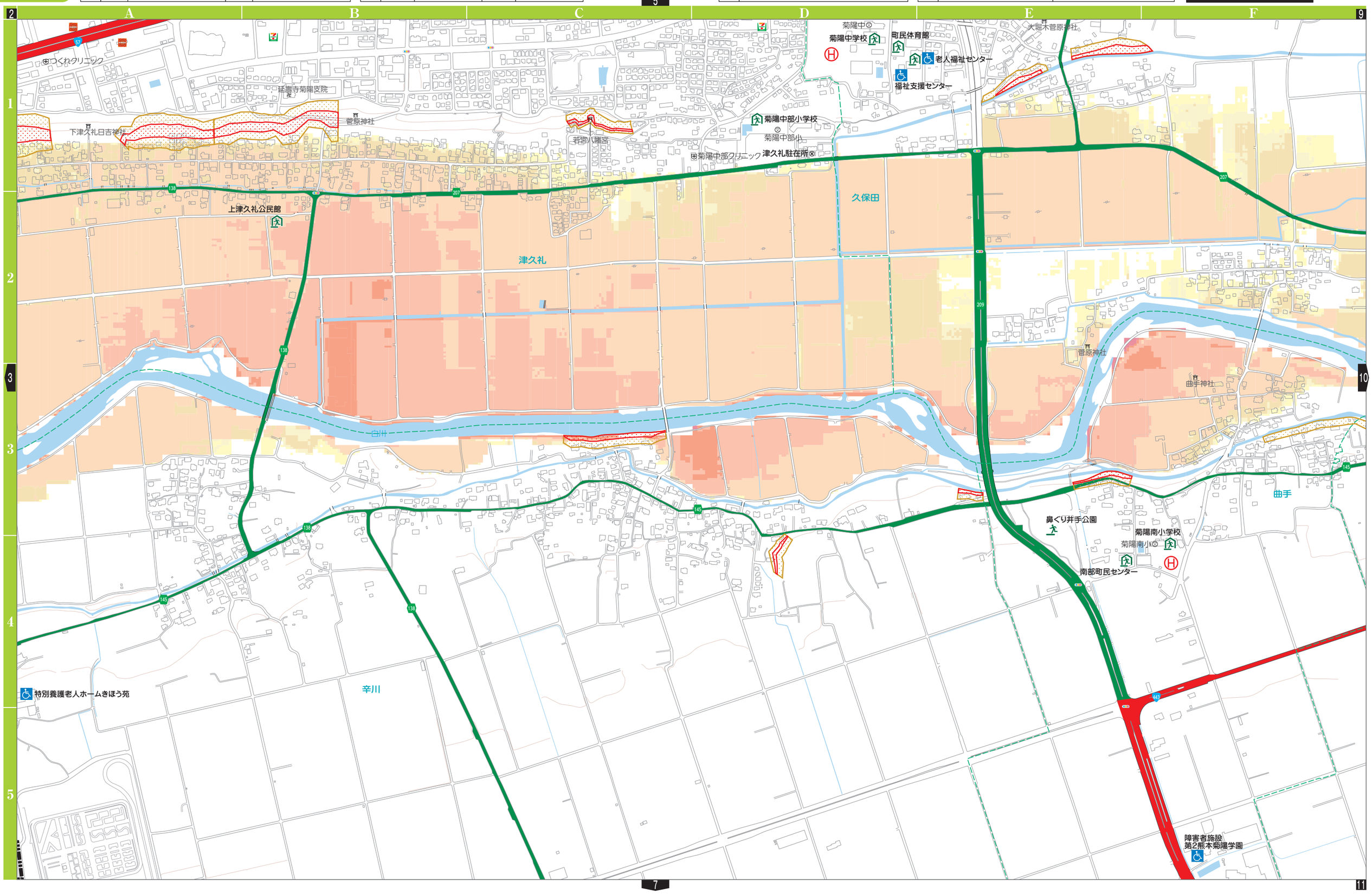
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例		
	0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
	0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
	0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
	1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

7 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

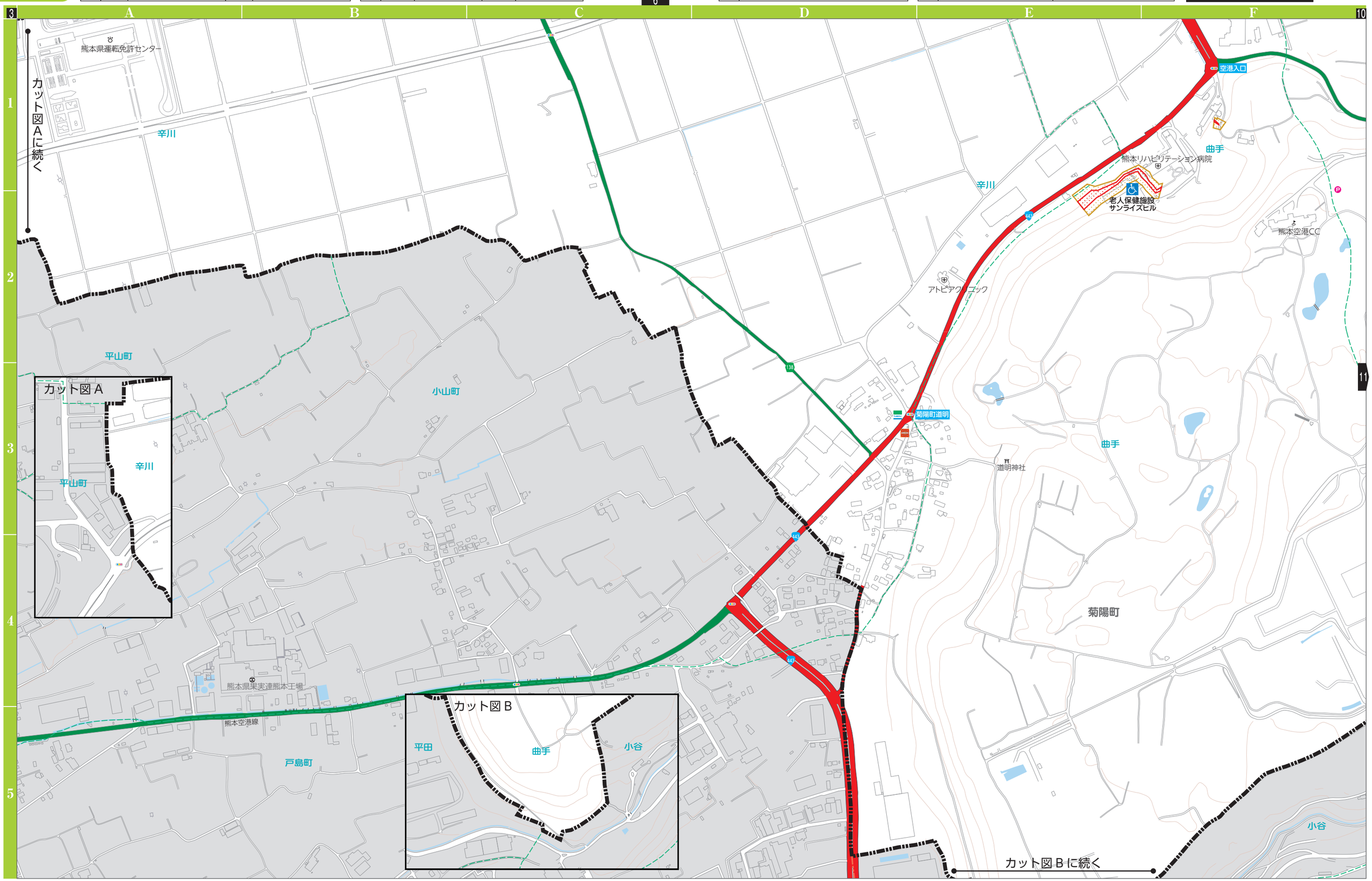
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例	
0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

8 MAP

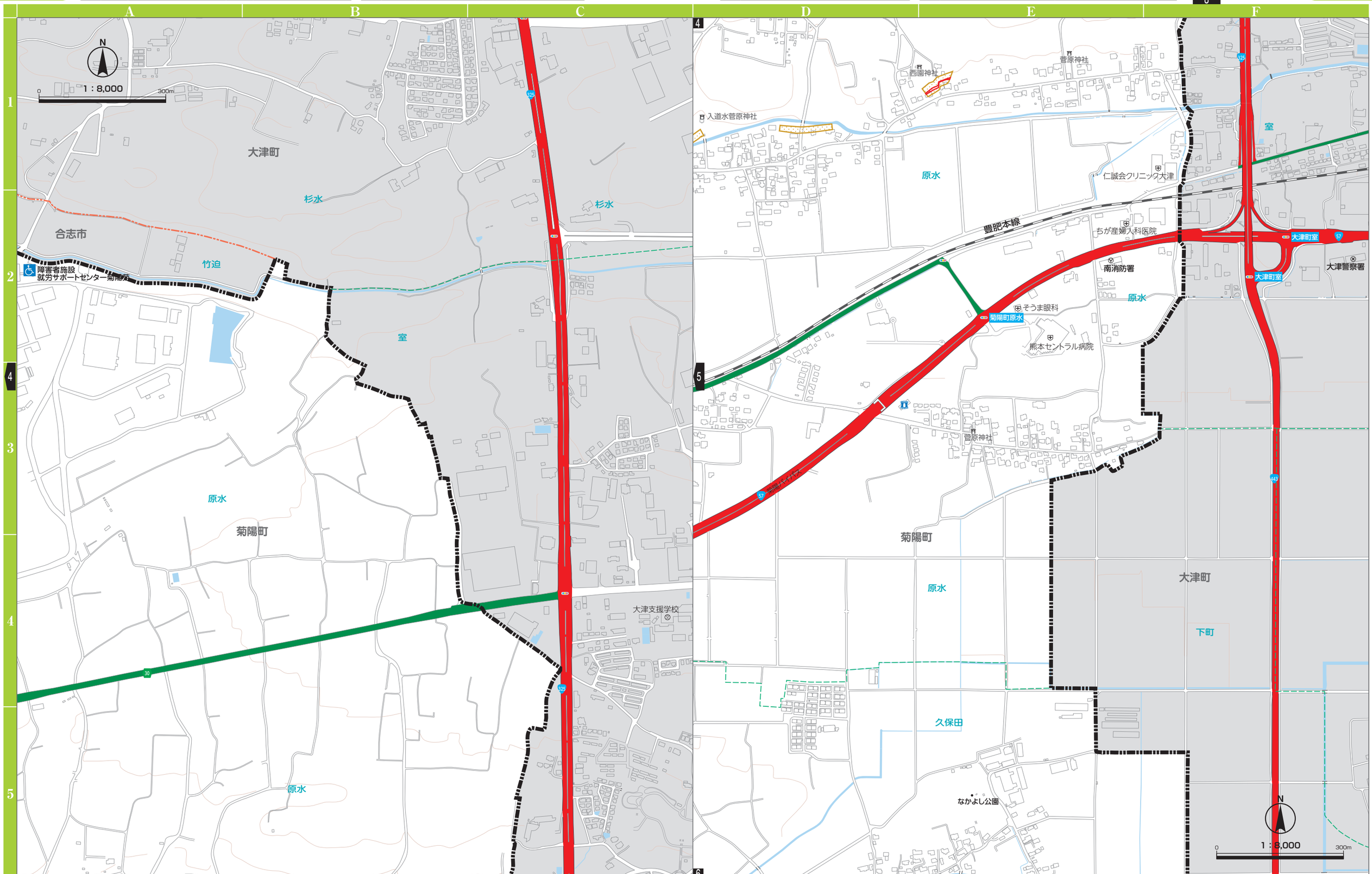
避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例		
	0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
	0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
	0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
	1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

9 MAP



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

10 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

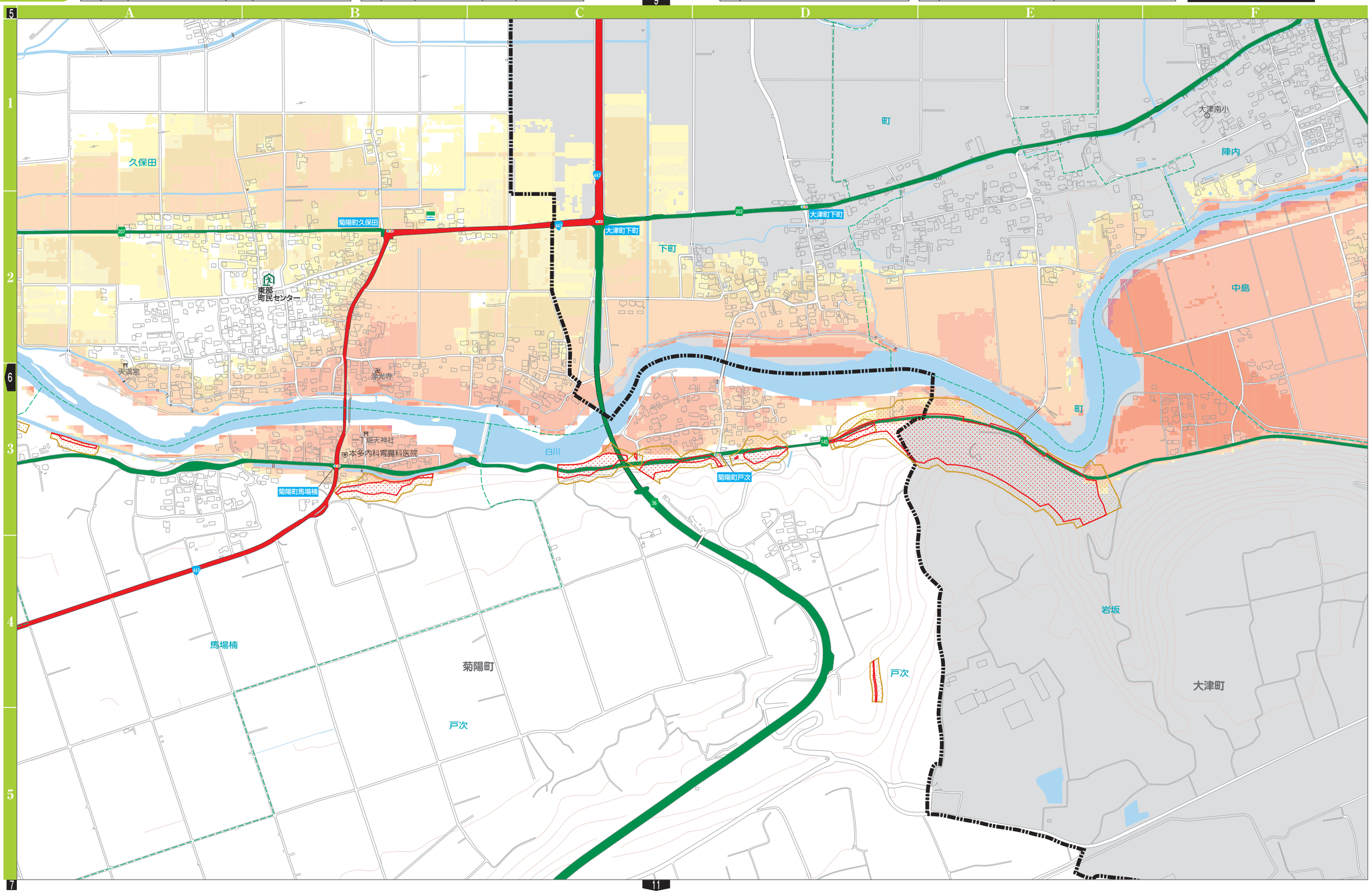
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例	
0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

11 MAP

避難所凡例			
	指定緊急避難場所及び指定一般避難所		指定福祉避難所
	指定緊急避難場所		協定一時避難所

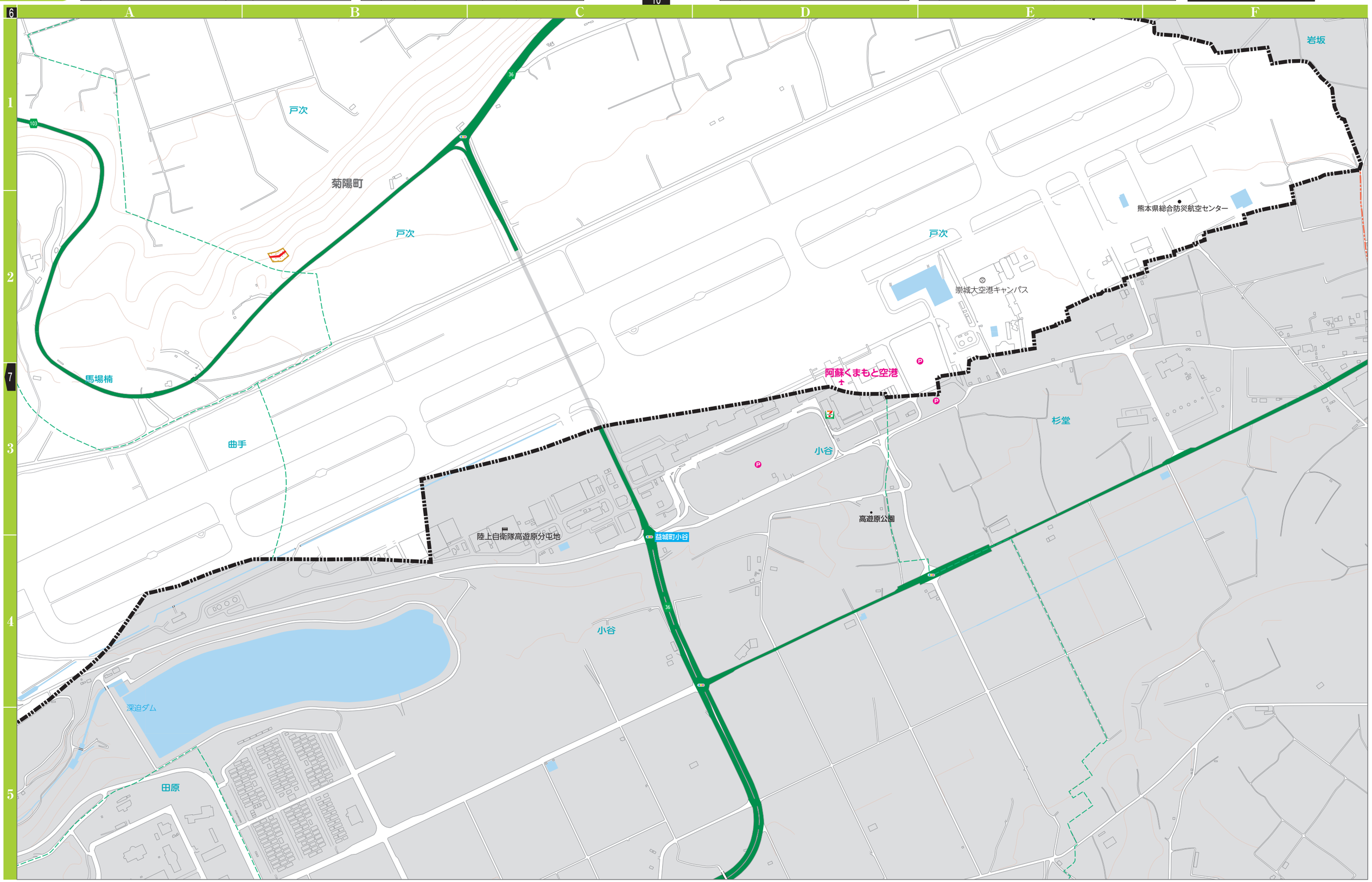
道路凡例			
	国道		高速道路
	県道		ＪＲ

土砂災害凡例	
	特別警戒区域・急傾斜地の崩壊
	警戒区域・急傾斜地の崩壊

浸水深凡例	
0.3m未満の区域	3.0m ～ 5.0m未満の区域
0.3m ～ 0.5m未満の区域	5.0m ～ 10.0m未満の区域
0.5m ～ 1.0m未満の区域	10.0m ～ 20.0m未満の区域
1.0m ～ 3.0m未満の区域	20.0m 以上の区域

N

0　1：8,000　300m



※浸水深は想定最大規模（1000年に1度の大雨を想定）です。

防災に関する知識

緊急時の連絡先

消防・救急は **119番**

警察は **110番**

	名　称	電話番号
町	菊陽町役場	096−232−2111
消防	菊池広域連合南消防署	096−232−9331
	菊池広域連合泉ヶ丘消防署	096−248−4731
警察	大津警察署	096−294−0110
	津久礼駐在所	096−232−2027
	光の森交番	096−232−8100

	名　称	電話番号
ライフライン	九州電力大津営業所	0120−986−602
	大津菊陽水道企業団	096−293−7711
	NTT（電話サービスの故障）	113
	ガスに関すること	契約しているガス会社によって異なるため、事前に必ず確認しておきましょう。

日常の心得

災害は、いつ発生するか分かりません。日頃からの備えが大切です。
日頃から気象情報について、テレビ・ラジオ・新聞・インターネットなどを通じて把握するよう努めましょう。

連絡方法の確認

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。
なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

一般社団法人電気通信事業者協会《災害時の電話の利用方法》
https://www.tca.or.jp/information/disaster.html

NTT西日本《災害用伝言ダイヤル171》
https://www.ntt-west.co.jp/dengon/

NTTドコモ《災害用伝言サービス》
https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster

au《災害用伝言版サービス》
https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/

ソフトバンク《災害用伝言版サービス》
https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/

緊急速報メール

「緊急速報メール」により、緊急情報を配信します。

町では、災害時の避難指示などの緊急情報をより多くの人にお伝えするため、緊急時に町内にいる人の携帯電話へ「緊急速報メール」の配信を行います。

○「緊急速報メール」とは、避難指示などの緊急情報を町内にいる人の携帯電話（NTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイル等）へ一斉にメールを配信するものです。
※機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせください。

○配信する情報は、避難指示など、緊急かつ重要な情報です。
○携帯電話を利用する人の費用負担や事前のメールアドレス登録は必要ありません。

菊陽町